

無床透析クリニックでの COVID-19 対策

医療法人社団前田記念会 石神井公園じんクリニック

○長原 洋子 木村 真莉菜 池田 志帆子 前田 国見

【背景】

2020年2月頃より全国的に COVID-19 の感染が拡大している。透析患者は原則入院治療が必要であるが、病床ひっ迫により即時入院が困難な場合は、自施設で隔離透析を行う必要がある。今回、無床クリニックの当院が行った感染対策、隔離透析の取り組みについて報告する。

【目的・方法】

COVID19 陽性患者(以下、陽性患者)と濃厚接触患者に安全な隔離透析を実施するため、無床クリニックの設備状況に合わせた独自の感染対策マニュアルを作成し、スタッフが統一したマニュアルで隔離透析を行った。

さらに、隔離透析を経験した患者全員に聞き取り調査を行った。

【感染対策への取り組み】

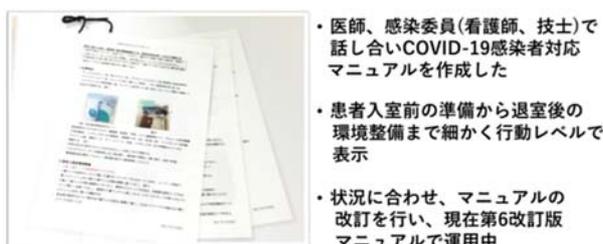
- ・患者用玄関に、咳エチケットポスターと消毒液の設置を行い手指衛生、咳エチケットのお願いをした。
- ・送迎車では、乗車人数を制限するため、送迎ルートの調節・変更を行い、送迎ごとに車内をアルコールで消毒した。乗車前には非接触性体温計で体温測定を行い、発熱などの症状がないか確認後乗車とした。
- ・患者が利用する更衣室は入室時間の調整を行い、更衣室が密にならないようにした。
- ・接触・飛沫感染対策として患者にマスク着用の徹底、また、透析室内の環境整備としてエアドッグの設置、窓開けによる換気、ベッド間に透明のビニールカーテンを設置した。カーテンを透明にすることで、治療中の様子を確認することができ、安全に透析治療を実施している。
- ・透析室では、最も密になる体重計前の通路は、一定の間隔で並べるように、床に誘導サインを貼った(図1)。



(図1)

- ・ 隔離透析を担当するスタッフ(以下、担当スタッフ)が、安心して患者の対応を行えるように、医師と感染委員で話し合いの上、「COVID19 感染者対応マニュアル」を作成した。マニュアルでは、患者入室前の準備から退室後の環境整備まで細かく行動レベルで表示。パウチをして、隔離エリア内で実施方法の確認ができるようにした(図2)。

感染対策への取り組み ④マニュアル作成



(図2)

- ・ クリニックでは、2021年5月よりスタッフ・ドライバーへのワクチン接種を開始し、患者に対しては、高齢者から順次接種を開始した。感染対策の一環で、家庭内感染を防ぐために患者の同居家族にも接種を行った。
- ・ 発熱や症状のある患者、濃厚接触の可能性のある患者には、医師が防護具を着用して別室で簡易抗原検査とPCR検査を実施。陰性を確認してから透析室に移動して透析を行っている。
- ・ 隔離透析が必要な患者は、来院時間を変更し、職員玄関より入室して、他の患者と接触する機会をなくしている。また、入室後は手すりや壁などに触れないように車椅子で移動し、他のスタッフがエレベーター操作を行っている。

【隔離エリア内の実際】

- ・ 患者は隔離透析エリア内で着替えや体重測定を行い、担当スタッフは、个人防护具を着用している(図3)。

隔離透析の実際 ②入室前準備・个人防护具



(図3)

- ・ 陽性患者はいつ状態が悪化するかわからないため、自宅療養中でも自身の健康状態の

観察を行うことが重要である。そこでパルスオキシメーターを貸し出し、SpO2 と体温測定、体調の変化を記録するように指導している。

- ・ 隔離透析終了後は、担当スタッフが防護具を着用したまま、十分な換気を行い、リネン類の回収、アルコール系消毒薬での隔離透析エリア内の清拭を行っている。担当スタッフ1名のみで行うように徹底し、防護具着脱による感染や他の患者やスタッフへの感染リスク低減を図っている。

【隔離透析を経験した患者からの聞き取り調査結果】



熱はあったがまさか感染しているとは思わなかった。どこに入院できるか心配だった。でも、クリニックで透析ができて安心した。



急に熱がでた。もしかしたら・・・と思った。クリニックで検査したら陽性でショックだった。同居の息子も感染してしまった。本当なら入院になるのに、クリニックで透析してもらえて安心した。



まさか自分が感染するとは驚いた。あんなに対策していたのに。送迎の手配もしてもらって、クリニックで透析ができて良かった。

クリニックで透析ができて、安心した

【結果】

スタッフ間でマニュアルの周知徹底を継続して行うことで、統一した手技で安全な隔離透析を行うことができた。患者への感染教育や更衣室・送迎車車内での密回避、透析室内での接触、飛沫感染対策を励行することができた。

また、隔離透析を受けた患者からは、通院しているクリニックで透析治療が行えたことで安心できたという意見が聞かれた。

【結語】

無床クリニックの現状に合わせた COVID19 感染対策マニュアルを作成し、実践することが大切である。今後も現状に合わせ改訂を行いながら、感染拡大防止に努めていきたい。